

## 第40回 IRIDeS 金曜フォーラムを開催しました (2016/9/23)

テーマ：東北大学災害科学国際研究所からの情報発信

URL：<http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html>

平成 28 年 9 月 23 日(金)に東北大学災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホールにおいて、「第 40 回 IRIDeS 金曜フォーラム」を開催しました。IRIDeS 金曜フォーラムとは、当研究所で行われている研究・活動の情報を所内のみならず学内外・一般の方々と広く共有し、研究の連携・融合を図ることを目的に、定期的な発表・討論の場として開催しているものです。本フォーラムでは、主に研究所の教員・スタッフから、各部門・分野での国際的・学際的な研究テーマについて話題提供を行います。

第 40 回は『2015 年 9 月関東・東北豪雨に関する研究：1 年間の総括と 2016 年台風 10 号緊急報告』と題して、8 つの話題提供・報告がありました。当日は 60 名ほどの参加をいただき、会場からは、水害と地名の関係や治水管理の現状について相次いで質問があり、活発な議論が行われました。当日の発表題目は以下のとおりです。

1. 「宮城県の短時間強雨のメカニズムとその予測可能性」  
岩崎俊樹 (災害理学研究部門 気象・海洋災害研究分野)
2. 「近年の洪水氾濫の特徴と課題 一 茨井川、鬼怒川、小本川の比較一」  
呉修一 (富山県立大学 工学部 ※2015 年度まで：災害リスク研究部門)
3. 「台風 10 号による被害概要と災害研マッピングシステムの構築」  
有働恵子 (災害リスク研究部門 災害ポテンシャル研究分野)
4. 「降雨と土砂災害の関係」  
森口周二 (地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野)
5. 「人的被害の特徴と災害情報の現状・限界—2015 年台風 18 号と 2016 年台風 10 号—」  
佐藤翔輔 (情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野)
6. 「住民自治組織の役割の変遷の分析—大崎市内の旧高倉村を事例として—」  
地引泰人・松本行真 (リーディング大学院)
7. 「大崎低湿地の防災文化—河川氾濫と生きた歴史と民俗—」  
川島秀一・蝦名裕一 (人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野)
8. 「水害時における避難情報について」  
佐々木俊太郎 (大崎市 市民協働推進部 防災安全課)

司会進行：佐藤 翔輔 (情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野)

次回第 41 回は、2016 年 10 月 28 日 (金) 16:30~ 東北大学 災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホールにて『地域連携の実相』をテーマに開催いたします。

詳しくは、HP をご覧ください。(<http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html>)



岩崎俊樹教授



呉修一准教授



有働恵子准教授



森口周二准教授



佐藤翔輔助教



地引泰人助教



川島秀一教授



佐々木俊太郎氏



会場の様子